

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、
神はその願いを聞いてくださるといふこと、これこそ神に対する私たちの確信です。
私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、
神に願ったその事は、すでになえられたと知るのです。

ヨハネの手紙 第一 5章 14-15節

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといふこと、これこそ神に対する私たちの確信です。」(14節)とあり、鍵は「みこころにかなう」です。しかし、その瞬間、みこころが狭くなり、ハードルが高くなるのです。しかし、みこころというのは、もっと大きくて広いのです。なぜかと言いますと、イエス様は、私たちに、命を捨ててまで愛してくださったのです。愛している方は、私たちの最善を願うのです。神様に求めてください。神様は見事なぐらい答えてくれます。使徒行伝12章で、ペテロが助け出されたように、言い換えれば、あれは、絶対ありえないことに向かって祈っていたからです。つまり、助けることは、みこころだったのです。

次は、「私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでになえられたと知るのです。」(15節)とあります。「すでになえられた」ですから、これは、過去形、完了形です。つまり「もうすでに答えられた」と受け取りなさいといふことです。これが「受けたという信仰」です。この「受けたという信仰」を用い始めると、人は奇跡を体験し始め、神様のみことばの成就を見始めるのです。本当に、受けたといふところに立てば良いのです。

ヨシャパテの時代の事が、II歴代誌の20章にあります。賛美隊のみことばです。ヨシャパテのとき、絶対絶命だったのです。旧約の戦争で、間違いなく全員死ぬという状況だったのです。そのときに、ヨシャパテは、全国民に、断食を命じて、自分も断食し、神に対して、叫ぶのです。最初は、神を賛美することから始まるのですが、主の助けを求めて、神に真剣に叫ぶのです。その時、神はヤハジエルという人を通して預言を与えるのです。「この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。あす、彼らのところに攻め下れ。」(15~16節)と、「この戦いではあなたがたが戦うのではない。しっかり立って動かずにいよ。あなたがたとともにいる主の救いを見よ」(17節)と語られるのです。その瞬間ヨシャパテは受け取るのです。まだ全然敵軍がいつばいいて、何も起こっていないのです。圧倒的に敵が勝っていて、負けるのは目に見えているのです。ですが、神からことばがきた時に、受けたと信じたのです。勝つことがみこころだと分かったのです。神様が、聞いてくださったと分かった瞬間、賛美隊

を前に出すのです。普通戦争のときは、前先端に強いを出しますが、後ろに下がって、賛美隊が前に出たのです。賛美隊は武器を持っていません。しかも「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」と、書いてあるのです。分かりやすく言えば、敵の前に「勝利したぞ」と、賛美しながら、賛美隊が出て行ったのです。そして、伏兵が出てきて、一本の玉も、一本の槍も使わずに、だれ一人負傷せずに、完全に勝利して、分捕りするのです。

今年は奇跡なのです。五つのパンと二匹の魚で満腹になった奇跡なのです。ありえないことを神は語ってこられるのです。鍵は「感謝」です。ですから、「受けたという感謝」、「このことも全部益になるといふ感謝」です。感謝して求めれば良いのです。信じたところに立って告白するのが一番簡単です。それだけでなく、そして踏み出すのです。受けたといふところに立ってください。この二つです。そのときに、神様は勝利を与えられるのです。日本にリバイバルが起こることはみこころです。あなたの愛する人が救われるのは、みこころです。それを大胆に求めてほしいと思います。

最後に賜物のことですが、「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」(1コリント14:1)とあり、まず祈るわけです。そして、御霊がおられ、その御霊から愛が注がれるので、私たちは神の愛を流せるのです。アカペーの愛です。もう一つは、賜物といふのは、御霊の現れと書いてあるのです。私たちが受けたと信じて、用いられれば、神様が働かれるといふことです。もうすでに与えられているわけです。特に預言ですから、預言するのです。これを用いる人は、驚くべき栄光を見るのです。

祈らなければ、どんなに神の愛が大きくて、みこころが狭くないか分かりません。素直に、大胆に、正直に求めてください。自分の愛する人のことを祈ってください。そのときに分かります。お互いこの年たくさん奇跡を見ましょう。そして、御霊を用いての神の御業をお互い見て行きたいと思えます。主の方は現したいと、本気で思っています。応答するならそれを見れるといふことです。

(文責 工藤オリーブ)

お祈りの課題 *Prayer Request*

- ① 4/5(土)の賛美大会長崎県予選のため、
- ② 5/6(火祭)の賛美大会九州予選と5/7(水)の会衆賛美リーダーとチームのセミナー、午後からの天主公園での会衆賛美コンサートのため、ダビデ前田牧師のため、
- ③ 礼拝に喜びと笑顔があふれ、第二礼拝が100名を超え、第一・第三・インター・月曜の礼拝が50名を超えて、オンライン礼拝者も1000名を超え、うなぎ上りになってくるように。
- ④ すでに与えられている120名の働き人が速やかに遣わされて来て、さらに3000名の弟子が加えられるように。
- ⑤ 愛を追い求め、また御霊の賜物の働き、特に預言といやし。木原純子牧師・デボラ大内牧師、山頭郁子・順子姉妹・佐久間ご夫妻のため&ミニストリーを通して救いと癒し、奇跡が次々に現れてくるように。
- ⑥ 宣教(聖書ってこんなに面白い、ラジオ、路上ライブ3/15、チャペルコンサート等)の働き、人々の救いのため。
- ⑦ 新会堂と永遠の家の速やかな建設のため、
- ⑧ カトリック、来年の殉教聖会と九州の各教会(大村、大牟田、北九州、佐賀)のため

●ファミリー会員登録は、
こちらから



長崎エルサレム教会の正会員の方は、
会堂に来られる方も、オンラインの方も登録をお願い致します!

〒852-8116 長崎市平和町5-6-2F Tel.095-843-3178 Fax.095-843-3128

主任牧師：イエス・キリスト

n.shimobe@gmail.com

牧師：イザヤ木原真・純子・山本節子・坂井一美・JOY木村・シオン野見山・デボラ大内

